

あなたの家は狙われやすい?



プロが空き巣対策を教える



旅行や帰省などで長期間、家を不在にするときは、空き巣に狙われるリスクに注意しなければなりません。そこで、今回はセキュリティのプロであるALSOKさんに空き巣対策のポイントについて教えてもらいました。

Q すくにできることは?

A. まずはちゃんと鍵をかける

警察庁サイトの「住まいる防犯110番」によると、侵入窃盗の手段について、一戸建て住宅の場合、1位が「無締り」(2位はガラス破り、3位は合鍵)です。ゴミ出しや近所のコンビニへの買い物など、少しの外出でも施錠する習慣を身につけるようにしましょう。

鍵の開め忘れを防ぐには?

声を出して確認をする



鍵を開けた後、「鍵よし!」など声を出して指差し確認をすることは、開め忘れ防止に効果的です。目と耳を使うことで、施錠した記憶が残ります。

スマートロックを使う

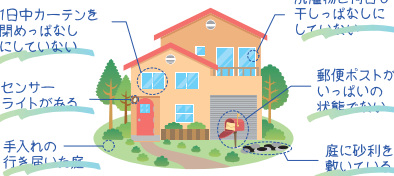
スマートロックとは、スマートフォンやカードキーなどを利用して、鍵を施錠したり、解錠したりできるアイテムのことです。施錠履歴をアプリで確認できるものもあるので、鍵の開め忘れを防止します。



Q 戸建て住まいでの注意点は?

A. 空き巣が侵入しにくい庭を意識する

泥棒は事前の下見をすることがほとんどです。庭をきれいにして、「この家は防犯意識が高い」と思われ、狙われにくくなります。



在宅中でも泥棒が侵入するケースも

空き巣のほか、在宅中に侵入してくる泥棒もいます。目が届かない部屋の鍵は確実に施錠するといったように、「家にも油断できない」と考えて、防犯対策をしっかりと行いましょう。

ちごこメモ

置き配が増えている中、進化している

宅配ボックス

スマホと連携して配達時の録画や遠隔操作ができるものがあり、盗難防止に役立ちます。



もし、空き巣被害にあったら?



帰宅後、空き巣が入った形跡があったら、すぐに110番で警察へ通報を。犯人の手がかりが残っている場合があるので、部屋は触らないようにしましょう。もし、空き巣と遭遇してしまったときは、身の安全を守るために、すぐに逃げることを心掛けてください。



転勤や就職などで土地勘のない場所へ引越した場合は、時間があるときに周辺を歩いてみましょう。いざというときに逃げ込める場所があるか確認をしておく、安心です。

さらに防犯力を高めたい人は、ホームセキュリティを導入することも一つの手です。今回、お話を伺ったALSOKさんでは、ホームセキュリティはもちろん、防犯グッズも取り扱っています。詳細は下記QRを読み取って、確認を。

取材協力

ALSOK 鹿児島総合警備保障(株)
〒890-8508 鹿児島県鹿児島市与次郎1-6-33
TEL: 099-251-0991



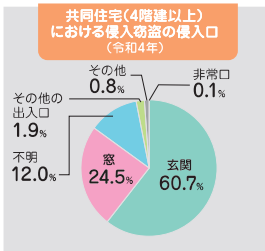
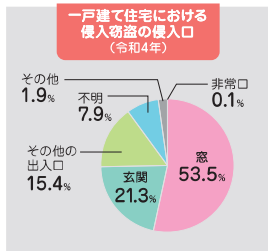
記事の続きは2面へ

知っておきたい『住まいの防犯知識』



泥棒はどこから侵入するの?

侵入窃盗の侵入口について、どの形態の住宅でも、「窓」と「玄関」からの侵入が多い傾向にあります。戸締まりをしっかりと行ったり、防犯性の高い窓を採用したりなどの対策を行いましょう。



※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。
出典:警察庁「住まいる防犯110番」の資料をもとに作成

色々ある防犯アイテム

●補助錠

補助錠とは、玄関や窓についている鍵とは別に防犯性を高める目的で補助的に取り付ける鍵のことです。2つ以上鍵があれば、侵入に時間がかかり、空き巣に犯行を諦めさせることにつながります。

●防犯フィルム

防犯フィルムを窓に貼り付けることで、窓を割れにくくします。台風や地震などで窓が割れても破片の飛散を最小限に抑えることができるので、自然災害による不安も減らせます。

●センサーライト

人や物の動きや温度に反応してライトが点灯するので、不審者の侵入を防ぐことに役立ちます。防水機能がついていたり、探知範囲に入っただけで録画ができたりと多くの種類があります。

●防犯砂利

防犯砂利とは、踏みと大きな音が発生するように加工された砂利のことです。普通の砂利と比べると、防犯性に特化しています。防犯砂利を敷くことで雑草対策も期待できます。

マンションの場合、最上階に住んでいても、空き巣が屋上に侵入し、そこからロープを利用して部屋に入ることがあります。窓や玄関の鍵を開けられないようにしましょう

今回、紹介したものの以外に住宅侵入を防ぐ方法は色々あります。防犯グッズの設置場所や予算などに合わせて、取り入れるか検討してみましょう。